

## 令和5年度 自己点検結果資料

2024年3月

総評：新カリキュラム2年目を実施して、コンセプトの専門科目と実習の関連や進め方が明確になった。新しい取り組みが多い中、専任教員が科目のマネジメントを行うが、コンセプトや進度の理解、科目間の教授内容の情報共有・連携の必要性など、新たな課題が明らかになった。また2月の海外研修や五島列島研修の前後に1年生の終講テストが重なることや、新カリキュラムでは3年次12月の国家試験対策の時間が取れないことなど時間割の調整が必要であると考えられる。教員業務の重複があることも改善が必要な点である。令和6年度は、教材としての講師の選任や講義テーマの明確化、進度の調整、授業に用いる視聴覚教材の開発が課題となる。

項目	点検内容
I 教育理念(理念・目的・育成人材)	<p>令和4年度に改正された教育理念・目標・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー・ディプロマポリシーの周知をはかる</p> <p><b>【具体的な取り組み】</b></p> <p>① HP のリニューアル・6P の掲載</p> <p>② 学生がディプロマポリシーをよく理解して、自己の成長に活かすために、学年目標や実習目標に6Pを活用する方法を実践する</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>新カリ1年生の卒業時の評価項目と方法の明確化</p>
II 学校運営	<p>事業計画は、円滑に機能していることから意思決定システムは適切であると評価する</p> <p><b>【具体的な取り組み】</b></p> <p>① 会議で事業計画の周知をはかる</p> <p>③ 新任教員の専任教員資格の取得のための支援</p> <p>④ 教員の修士課程進学支援、調整手当などの検討開始</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>情報共有手段としてのガラケーの携帯電話3Gが使用できなくなった後の教員間での情報共有手段についての検討</p>
III 教育活動	<p>新カリキュラムを開始して2年目に入った。今年度始まる臨地実習に対する周知をはかり、かつ実施後の実習施設の評価を調査する</p> <p><b>【具体的な取り組み】</b></p> <p>① 合同学習会を開催(6月、10月)する</p> <p>② 看護師教育の技術項目と卒業時の到達度の評価方法を明確化する。</p> <p>③ 卒業前技術演習(3月)を実施し、効果を評価する。</p> <p>④ 新カリキュラムの学習効果を調査する</p> <p>・単位未修得者数、再試験者数、GPAの推移の調査、模試成績の推移</p> <p>⑤ 授業評価の分析</p> <p>教職員組織の相互支援のある環境を維持しながら、仕事内容や分担、システムの見直しを</p>

	<p>図っていく必要がある。</p> <p>⑥ 組織改革 Change Program 研修（オフィス・マーラス 出口郁子講師）の実施 1回3時間の研修4回/年「心理的安全性」をテーマに教職員研修を実施。 その他教職員の研修や学会発表など活発に行うことができた。</p> <p><b>【課題】</b> 研修終了後も組織の心理的安全性を維持する組織風土を維持すること</p>
IV 学修成果	<p>過去3年間は、看護師国家試験の合格率100%を維持できている。現状の合格率を維持していくことが重点目標である。今後は新カリキュラムの学習効果の評価として、卒業生の動向を把握する必要がある。今後、新カリキュラム開始後の卒業生について把握し、旧カリキュラムの卒業生の評価とどのような変化があったのか調査する必要がある。</p> <p><b>【具体的な取り組み】</b></p> <p>① 令和4年度卒業生の進路状況と状況（離職・休職・転職・異動など）を把握する。 ② 卒後1年目の様子に対して看護部との連携により動向把握に努める。</p> <p><b>【課題】</b> 卒業後の卒業生の動向をシステムティックに調査する方法の確立</p>
V 学生支援	<p>現在、副学校長が就職相談として、就職先の把握、就職活動の指導を行っているが、新カリキュラムによる年間行事の変更により例年通りの対応が困難となることが予想される。</p> <p><b>【具体的な取り組み】</b></p> <p>①就職相談センターの位置づけを明確にする。事務長と教務主任と連携し、活動内容と役割の明確化を行う。</p> <p><b>【課題】</b> 就職活動期の3年生4月までに学生希望の病院に実習に行く機会がない</p>
VI 教育環境	<p>ICT強化によるHP・SNS発信など事務業務の多様化・増加があり、人員不足による図書蔵書管理と整備が課題となっている。</p> <p>安全管理では、南海トラフ地震・津波被害を想定した災害対応マニュアルの改訂・訓練の実施が課題である。また不審者の侵入という事案に対し、防犯対策を強化する必要がある。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>①蔵書管理・整備の放課後学生アルバイトについて検討 ②災害時の対応マニュアルを作成する。 ③セキュリティ会社と連携し、正面玄関、非常口付近に防犯カメラを設置する</p>
VII 学生募集と受け入れ	<p>地域での広報活動を強化する必要がある。カリキュラムの特徴として、体験学習の内容や行事の楽しさが伝わるような広報活動に取り組む。現役生受験者の維持と社会人受験者の獲得が課題である。</p> <p><b>【具体的な取り組み】</b></p> <p>①夏のオープンキャンパスの参加者 計120人目標 ② 社会人向けオープンキャンパスを企画する。 ③ 広報計画（SNS,地域への宣伝など）に基づいて実践する</p>
VIII 財	<p>学校単独では年度計画予算に基づき月次ごとに収支管理を行っている。財政基盤において</p>

務	は、学校単独の収支及び補助金収入などにより、影響なく運営が行える状況にある。
IX 法令の遵守	<p>現在のところ、個人情報に関する問題は報告されておらず、学生・教職員のコンプライアンスは守られていると評価する。今後もこれを維持していくことが課題である。</p> <p>自己点検委員会を年2回開催しているが、学校関係者評価には至っておらず課題になっている。</p> <p><b>【具体的な取り組み】</b></p> <p>①学校関係者評価委員会規定の作成を行い、委員の選定を行う。</p> <p>②10月に学校関係者評価委員会の開催をする</p>
X 社会貢献・地域貢献	<p>要請に対し、積極的に看護職員および臨地指導者の質向上に向けた取り組みとして、教員の派遣や看護雑誌への投稿を通じて貢献していると評価する。また、学生・教員ともに積極的にボランティア活動に参加し、地域貢献に努力していると評価する。ボランティア活動は、学生の人間的な成長の機会にもなるので、今後も地域と連携して継続していくことが課題である。</p>

